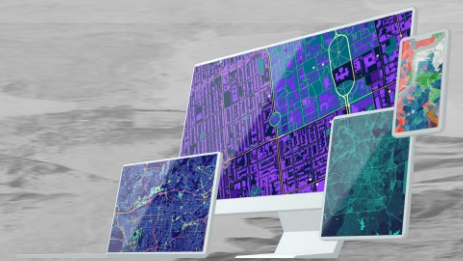


ArcGIS

ArcGIS Enterprise 12.1
機能比較表



はじめに

本ドキュメントは、Esri 社が作成した ArcGIS Enterprise に関する機能比較表である "ArcGIS Enterprise Functionality Matrix" を ESRI ジャパン株式会社が翻訳・更新したものになります。

また、日本国内ではサポートしていない製品、機能もございますので、動作環境についての Web ページ(https://www.esri.com/products/arcgis-enterprise/environments/12_1/)も併せてご確認ください。

目次

ArcGIS Enterprise の配置	-----3
ライセンス	-----4
ユーザー ロールおよびライセンス	-----8
ジオデータベースのケイパビリティ	-----9
サポートされるデータベース & データ接続	-----10
Kubernetes	-----12

凡例

- ：利用可能
- ：追加可能
- 空欄：利用不可

ArcGIS Enterprise のデプロイ

ArcGIS Enterprise には、Windows、Linux および Kubernetes の 3 つのデプロイ オプションがあります。

Windows と Linux の場合、ArcGIS Enterprise の各コンポーネントを手動で順番にインストールおよび構成するか、ArcGIS Enterprise デプロイ自動化ツールのいずれかを使用して自動化することができます。

以下の表は、提供される様々なArcGIS Enterprise デプロイ オプションと自動化ツールを紹介します。これらのツールを使用して初期インストールを行った場合、同じツールでアップグレードできることにご注意ください。

デプロイ	プラットフォーム	環境	自動化レベル	ユースケース / 対象者	備考
手動インストール	Windows Linux	オンプレミス クラウド	低い	完全な制御が必要な すべてのユーザー	各コンポーネントを手動で インストールおよび設定
ArcGIS Enterprise Builder	Windows Linux	オンプレミス クラウド	中程度	初級ユーザー / 単一マシン構成	ウィザード ベースの セットアップ / 単一マシンへのデプロイ
ArcGIS Enterprise Cloud Builder	Windows	Azure AWS	高い	クラウドユーザー / GUIベースでのデプロイ	クラウド環境の単一マシンへ デプロイをサポート
Cloud Formation Templates	Windows Linux	AWS	とても高い	上級者向けクラウド ユーザー	ArcGIS Enterprise スタック 全体のプロビジョニングと 構成を自動化
Chef Cookbooks	Windows Linux	オンプレミス クラウド	とても高い	DevOpsチーム および自動化を多用する環境	ArcGIS Enterprise スタック 全体のデプロイ、構成、 アップグレードを自動化
PowerShell DSC	Windows	オンプレミス クラウド	とても高い	自動化をデプロイする Windows管理者	ArcGIS Enterpriseの 宣言的構成管理

ArcGIS Enterprise on Kubernetes は、パブリッククラウド、プライベートクラウド、オンプレミス環境での展開を可能にし、インターネットから完全に切り離された環境での運用も対応しています。

以下の実装が可能です。

Amazon Elastic Kubernetes Service、Azure Kubernetes Service、Google Kubernetes Engine、および Red Hat OpenShift

Kubernetes 上の ArcGIS Enterprise は、Kubernetes を使用したコンテナ化アプリケーションのデプロイおよび管理に精通している組織を対象としています。

Kubernetes ※1 へのデプロイに関心のあるユーザーは、Kubernetes クラスタが利用可能であることと、Kubernetes 環境の管理に関する適切な専門知識が必要です。

詳細については、Kubernetes システム パターンの ArcGIS Architecture Center (<https://architecture.arcgis.com/en/>)、Kubernetes 上での ArcGIS Enterprise イントロダクション (<https://enterprise-k8s.arcgis.com/ja/latest/introduction/what-is-arcgis-enterprise-kubernetes.htm>) をご確認ください。

お問い合わせはこちら (<https://www.esri.com/form/inquiry/>) まで。

※1：詳細については、ArcGIS Enterprise on Kubernetes のシステム要件 (<https://doc.esri.com/ja/arcgis-enterprise-k8s/latest/deploy/system-requirements.html>) をご参照ください。

ライセンス

・ ArcGIS Enterprise Standard および Advanced

ArcGIS Enterprise には、Standard および Advanced の 2つの異なるエディション ライセンスがあります。

ArcGIS Enterprise Standard には、ジオデータベース管理と、ArcGIS GIS Server Standard が提供するすべての種類の Web サービスへのアクセスが含まれます。これにより、Web 用のマップ利用、フィーチャ サービスを使用した Web ベースの編集のサポート、および ArcGIS Pro Standard に含まれる任意のツールからジオプロセッシング サービスを公開することができます。また、ArcGIS Enterprise ポータルを介して、マップ、アプリ、およびその他の地理情報を組織内のすべての人と共有できます。

ArcGIS Enterprise Advanced では、Standard エディションのすべての機能に加えて、ArcGIS Pro Advanced に含まれる任意のツールからジオプロセッシング サービスを公開する機能や、ArcGIS Data Pipelines、 3D および Spatial Analyst ツールの機能も、Advanced エディションに含まれます。その他のエクステンションはすべてオプションで ライセンスが必要です。

・ ArcGIS GIS Server Basic

ArcGIS GIS Server Basic は、主にエンタープライズ ジオデータベース機能を提供する機能限定型のソフトウェアです。

また、フィーチャ サービスおよびジオデータ サービスの公開（編集は不可）機能も備えています。

ArcGIS GIS Server Basic は、ArcGIS Enterprise 配置の一部として連携させることやホスティングサーバとして指定したりすることはできません。

・ サーバーのケーパビリティ

サーバーのケーパビリティ	ArcGIS GIS Server Advanced	ArcGIS GIS Server Standard
Windows OS へのインストール	○	○
Linux OS へのインストール	○	○
クラウド環境でのインストール	○	○
オンプレミス環境でのインストール	○	○
オフライン環境下でのデプロイ	○	○
スクリプトと自動ワークフロー	○	○
分析モデルとモデル チェーンの作成	○	○
Web 上でのデータ編集	○	○
OGC Web サービスのサポート	○	○
住所情報から位置情報への変換（ジオコーディング）	○	○
オフライン環境下での編集	○	○
データの処理と分析	○	○
ジオプロセッシング ツールと Web ツールの公開	○	○
ArcGIS 3D Analyst ツールの公開 ※2	○	
ArcGIS Spatial Analyst ツールの公開 ※2	○	

・ ホスト レイヤーの種類

ホスト レイヤーの種類	ArcGIS GIS Server Advanced	ArcGIS GIS Server Standard
フィーチャ レイヤー	○	○
マップ イメージ レイヤー	○	○
3D レイヤー	○	○
ラスター タイル レイヤー	○	○
ベクター タイル レイヤー	○	○

・ コンテンツ

コンテンツ	ArcGIS GIS Server Advanced	ArcGIS GIS Server Standard
ArcGIS Living Atlas of the World	○	○
ArcGIS StreetMap Premium	●	●

※2：対応する ArcGIS Pro のエクステンションを保持している場合にのみ適用可能です。

凡例
○：利用可能 ●：追加可能 空欄：利用不可

・サービスの種類

サービスの種類	ArcGIS GIS Server Advanced	ArcGIS GIS Server Standard
3D タイル サービス	○	○
キャッシュ サービス – マップ、イメージ	○	○
ダイナミック マップ サービス	○	○
フィーチャ サービス	○	○
ジオコード サービス	○	○
ジオデータ サービス	○	○
ジオメトリ サービス	○	○
ジオプロセシング サービス	○	○
イメージ サービス – 単一ラスター	○	○
ネットワーク ダイアグラム サービス	○	○
パーセル ファブリック サービス	○	○
印刷サービス	○	○
ルーティング サービス ※3	○	○
シーン サービス	○	○
トレース ネットワーク サービス	○	○
ユーティリティ ネットワーク サービス	○	○
ベクター タイル サービス	○	○
バージョン マネジメント サービス	○	○

・エクステンション

エクステンション	ArcGIS GIS Server Advanced	ArcGIS GIS Server Standard
ArcGIS Network Analyst	○	●
ArcGIS Data Interoperability	●	●
ArcGIS Data Reviewer	●	●
ArcGIS Topographic Mapping	●	●
ArcGIS Maritime	●	●
ArcGIS Roads and Highways	●	●
ArcGIS Pipeline Referencing	●	●

・入力データの種類

入力データの種類	ArcGIS GIS Server Advanced	ArcGIS GIS Server Standard	ArcGIS Enterprise on Kubernetes
3D フィーチャ	○	○	○
3D シーン	○	○	○
住所ロケータ	○	○	○
ビッグ データ – フィーチャ	○	○	○
フィーチャ データ	○	○	○
画像/ラスター データ – 単一ラスター	○	○	○
3D メッシュ	○	○	○
LIDAR/トレイン データ – 単一ラスター	○	○	○
マルチパッチ データ	○	○	○
パーセル ファブリック	○	○	○
点群	○	○	○
表形式データ	○	○	○
ユーティリティ ネットワーク	○	○	○

凡例

○：利用可能 ●：追加可能 空欄：利用不可

※3：ArcGIS Network Analyst エクステンションが必要です。

・サーバーのケーパビリティー

サーバーのケーパビリティー	ArcGIS Data Pipelines Server ※4	ArcGIS GeoEvent™ Server ※5	ArcGIS Image Server	ArcGIS Knowledge Server	ArcGIS Notebook Server ※6	ArcGIS Workflow Manager Server	ArcGIS Video Server	ArcGIS Velocity™ Server
スクリプトと自動ワークフロー		○	○	○	○	○	○	○
分析モデルとモデル チェーンの作成		○	○		○			○
Web 上でのデータ編集		○	○	○	○	○		○
OGC Web サービスのサポート			○					
住所情報から位置情報への変換 (ジオコーディング)					○			
モザイク データ セットを動的画像サービスとして共有			○					
動的ラスター処理と解析			○					
ストリーミング データのリアルタイム解析		○						○
位置情報を活用した通知		○						○
ジオフェンスの作成および監視		○						○
データ サイエンス Python ライブラリの使用					○			
ビルドイン スケジュールの活用	○				○	○		
ノートブック スナップショットの利用					○			
グラフ データベースへの接続と保存				○	○			
ライブ ストリーミングとオンデマンドのビデオ レイヤーの作成							○	
データパイプラインの作成と実行	○							

・サービスの種類

サービスの種類	ArcGIS Data Pipelines Server	ArcGIS GeoEvent™ Server	ArcGIS Image Server	ArcGIS Knowledge Server	ArcGIS Notebook Server	ArcGIS Workflow Manager Server	ArcGIS Video Server	ArcGIS Velocity™ Server
キャッシュ サービス – マップ、イメージ			○					
ジオプロセシング サービス ※7			○					
イメージ サービス – モザイク データセット			○					
イメージ サービス – 単ーラスター			○					
すぐに使える Jupyter Notebook					○			
ストリーム サービス	○	○						
ナレッジ グラフ サービス				○				
ビデオ サービス							○	

・ホスト レイヤーの種類

ホスト レイヤーの種類	ArcGIS Data Pipelines Server	ArcGIS GeoEvent™ Server	ArcGIS Image Server	ArcGIS Knowledge Server	ArcGIS Notebook Server	ArcGIS Workflow Manager Server	ArcGIS Video Server	ArcGIS Velocity™ Server
イメージ レイヤー			○					
ナレッジ グラフ				○				
ビデオ サービス – ライブストリーム							○	
ビデオ サービス – オンデマンド							○	

※4：ArcGIS Data Pipelines Serverは、ArcGIS Enterprise Advanced に含まれています。

※5：ArcGIS GeoEvent Server は廃止予定です。詳細は廃止に関する告知を参照してください。

※6：ArcGIS Notebooks Server Standard は、ArcGIS Enterprise Standard および Advanced に含まれています。

※7：サーバー内に事前設定されているもののみで、
ジオプロセシング サービスを追加したり変更したりすることはできません。

凡例
○：利用可能 空欄：利用不可

・入力データの種類

入力データの種類	ArcGIS Data Pipelines Server	ArcGIS GeoEvent™ Server	ArcGIS Image Server	ArcGIS Knowledge Server	ArcGIS Notebook Server	ArcGIS Workflow Manager Server	ArcGIS Video Server	ArcGIS Velocity™ Server
3D フィーチャ					○			
3D シーン					○			
フィーチャ データ	○	○	○	○	○	○		○
画像/ラスター データ - モザイク データセット			○		○			
画像/ラスター データ - 単一ラスター			○		○			
ラベル付きプロパティ グラフ				○				
LIDAR/トレイン データ - モザイク データセット			○					
LIDAR/トレイン データ - 単一ラスター			○					
パーセル ファブリック					○	○		
点群					○			
ラスター標高サーフェス			○		○			
リアルタイム データ ストリーム	○	○						
表形式データ	○	○		○	○	○		○
ユーティリティ ネットワーク					○	○		
ビデオ ファイル - オンデマンド							○	
ライブストリーム ビデオ - UDP、RTSP、RTMP							○	

凡例
○ : 利用可能 空欄 : 利用不可

ユーザー ロールおよびライセンス

・ポータルへのケーパビリティ

ポータルへのケーパビリティ	ユーザー ロール				
	閲覧者	データ編集者	ユーザー	公開者	管理者
データ、レイヤー、Web マップ、アプリケーションの参照	○	○	○	○	○
マップ上でのデータの可視化	○	○	○	○	○
シーン内での3D データ表示	○	○	○	○	○
データの動的な検索とフィルタリング	○	○	○	○	○
場所の検索 (ジオサーチ)	○	○	○	○	○
ターンごとのルート案内の生成	○	○	○	○	○
データの表示スタイル (シンボル) 変更	○	○	○	○	○
距離の計測	○	○	○	○	○
アイテムの追加、作成			○	○	○
レイヤー、サービスの公開				○	○
住所情報から経緯度情報の変換 (ジオコーディング)			○	○	○
データ、レイヤー、Web マップの共有			○	○	○
Web マップから Web アプリケーションの作成			○	○	○
データの編集		○	○	○	○
新しいアイテムとして保存		○	○	○	○
データの解析			○	○	○
グループによるコンテンツの保護			○	○	○
データ、レイヤー、Web マップ、アプリケーションへのセキュリティ設定			○	○	○
ホストされたフィーチャ レイヤー ビューの作成				○	○
ArcGIS Enterprise Sites を使用した Web サイト、ページの作成					○
分散コラボレーションの作成や管理					○
ライセンスの管理					○
メンバーの追加と管理					○
メンバー アカウントの無効化					○
メンバーの削除					○

・ユーザー タイプ別に指定できるロール

ユーザーロールと互換性のあるユーザー タイプ	ユーザー ロール				
	閲覧者	データ編集者	ユーザー	公開者	管理者
Professional Plus	○	○	○	○	○
Professional	○	○	○	○	○
Creator	○	○	○	○	○
Mobile Worker	○	○	○		
Contributor	○	○			
Viewer ^{※8}	○				

※8：Viewer ユーザーが利用できる機能には制限があります。

・ユーザー タイプ エクステンション

ユーザー タイプ エクステンション	ユーザー タイプ					
	Viewer	Contributor	Mobile Worker	Creator	Professional	Professional Plus
Advanced Editing		●	●	●	○	○
Location Sharing	●	●	○	●	●	●

凡例

○：利用可能 ●：追加可能 空欄：利用不可

注意：本ドキュメントに記載されている情報は、Enterprise Agreement (EA) や教育サイト ライセンスなどの特別なプログラムには適用されません。付属する指定ユーザー エンタイトルメントの詳細な情報は、ESRIジャパンまでお問い合わせください。

ジオデータベースのケーパビリティー

・データタイプの編集機能

データタイプの編集機能	ユーザー タイプ		
	Contributor	Mobile Worker Creator	Professional Professional Plus
フィーチャ とテーブル データ	●	●	●
関連データ（関連クラス経由）	●	●	●
添付ファイル	●	●	●
アノテーション（標準またはフィーチャ リンク）	●	●	●
ディメンション	○※9	○※9	●
ジオデータベース トポロジのフィーチャ	○※9	○※9	●
ユーティリティ ネットワークのフィーチャ	○	○	●
トレース ネットワークのフィーチャ	○	○	●
パーセル ファブリックのフィーチャ	○	○	●

・ブランチ バージョン管理

ブランチ バージョン管理	ユーザー タイプ		
	Contributor	Mobile Worker Creator	Professional Professional Plus
バージョン変更とバージョン データの表示	●	●	●
バージョンの作成と管理（所有者の変更、削除など）	●	●	●
バージョン データの編集	●	●	●
バージョンのリコンサイルとポスト	○※9	○※9	●
競合の検出と解決	○※9	○※9	●
バージョンの違いの検出	○※9	○※9	●

・オフラインでのデータ操作

オフラインでのデータ操作	ユーザー タイプ		
	Contributor	Mobile Worker Creator	Professional Professional Plus
フィーチャ データの表示とクエリ	●	●	●
フィーチャ データの更新のダウンロード（一方向同期）	●	●	●
ユーティリティ ネットワーク、トレース ネットワーク、パーセル ファブリック フィーチャの表示とクエリ	●	●	●
ユーティリティ ネットワーク、トレース ネットワーク、パーセル ファブリック フィーチャの更新のダウンロード（一方向同期）	●	●	●
フィーチャ データの編集と更新のポスト（ブランチバージョン管理による双方向同期）		●	●
フィーチャ データの編集と更新のポスト（ブランチバージョン管理なし）		●	●
ユーティリティ ネットワーク、トレース ネットワーク、パーセル ファブリック、またはジオ データベース トポロジに 関係するフィーチャの編集（ブランチバージョン管理による双方向同期）		○※9	●

・属性ルール

属性ルール	ユーザー タイプ		
	Contributor	Mobile Worker Creator	Professional Professional Plus
属性ルールの作成と管理			●
編集中の計算ルールおよび制約ルールの実行	●	●	●
バッチ計算ルールおよび整合チェックルールの実行	○	○	●

※9：ArcGIS Indoors、ArcGIS Roads and Highways、ArcGIS Pipeline Referencing のライセンスでも対応しています。

凡例

- ：追加ライセンス必須（ArcGIS Advanced Editing user type extension）
- ：指定ライセンスによる対応 空欄：利用不可

クエリー レイヤーおよびエンタープライズ ジオデータベースに対応しているデータベース

Amazon Aurora PostgreSQL ※10
Amazon RDS for Microsoft SQL Server ※10
Amazon RDS for Oracle ※10
Amazon RDS for PostgreSQL ※10
Google Cloud SQL for PostgreSQL ※10
Google Cloud SQL for SQL Server ※10
IBM Db2
Microsoft Azure Database for PostgreSQL ※10
Microsoft Azure SQL Database ※10
Microsoft SQL Server
PostgreSQL
SAP HANA
SAP HANA Cloud ※10
Oracle
Oracle Autonomous AI Database ※10
Oracle Base Database Service ※10

クエリー レイヤーで対応しているクラウド データ ウェアハウスの種類

Amazon Redshift ※10
Google BigQuery ※10
Snowflake ※10

クエリ レイヤーで対応しているデータベースの種類

Dameng
Elasticsearch
OpenSearch
SQLite
Teradata

※10：クラウド上にホストされているデータベースを使用するには、ArcGIS Enterprise をデータベースと同じクラウド環境内に配置する必要があります。

クラウド環境の対応

システム要件を満たすインフラストラクチャを使用して、任意のクラウド プラットフォームに ArcGIS Enterprise を導入することができます。ArcGIS Enterprise はクラウドネイティブ ストレージとクラウド管理されたデータベースに対応しており、事前構築されたイメージとデプロイメント ツールが付属しているため、デプロイメントのインストールと構成をさらに容易に行うことができます。詳細については、各ドキュメントをご覧ください。

OGC および Open Web サービスの対応

Esri の Open Vision に従い、ArcGIS Enterprise は、以下の Open Geospatial Consortium, Inc. (OGC) および Open Web サービスに対応しています。

- Web Map Service (WMS)
(versions 1.0, 1.1, 1.1.1, and 1.3)
- Web Feature Service (WFS)
(versions 1.0, 1.1, and 2.0)
- Web Coverage Service (WCS)
(versions 1.0.0, 1.1.0, 1.1.1, 1.1.2, and 2.0.1)
- Web Map Tile Service (WMTS)
(version 1.0)
- Web Processing Service (WPS)
(version 1.0)
- Keyhole Markup Language (KML)
(version 2.2)
- GeoJSON
- OGC API

ArcGIS Image Server は上記と同じバージョンの Web Coverage Services を公開できます。

セキュリティ、認可、および認証

ArcGIS Enterprise は、アクセス管理やセキュアなリソースの権限設定など強固で効果的なセキュリティ フレームワークを提供します。セキュリティの構成は以下の機能を提供します。

- Web 層認証 (IWA, PKI)
- 多要素認証を利用したGIS 層認証 (ビルトイン)
- SAML 2.0 と OpenID Connect アイデンティティ プロバイダの統合
- エンタープライズ グループ
(Active Directory, LDAP, SAML 2.0)
- TLS 1.2, 1.3および後方互換性のオプション サポート

ArcGIS Enterprise 12.1 機能比較表

2026年 10月
ESRIジャパン株式会社
<https://www.esri.com/>
Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず
本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。
本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。
本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。